

感動デザイン工学研究所

所長 出原 立子

<https://wwwr.kanazawa-it.ac.jp/ade/>

“感動”それは新たなモノ・コトづくりのコンセプト

社会が新しい高付加価値を求める時代に入り、“ひとの心を動かす”モノ・コトづくりが重要になっています。当研究所では、「人々の心を揺さぶる製品・コンテンツをいかに生み出すか」「人々の感動体験をいかに生み出すか」このような人々に感動をもたらすモノ・コトづくりを主要テーマとして位置づけ、感動のメカニズムを科学的に解明し、商品開発やコンテンツ、体験デザインへの応用を目指します。さらに、人の感動を測定、数値化し、感動の評価システムの開発を行います。

これらの課題に対して、当研究所では3つのプロジェクトからアプローチしています。多様な形での産学連携のもとで研究を進め、実践的な製品・コンテンツ開発を行い、産業界や地域社会の発展に大きく貢献しています。



▲200インチの大画面には2次元、3次元の迫力ある映像が映し出され、THX基準の臨場感あふれるサラウンドシステムを備えています。

RESEARCH THEME : 研究テーマ

感動の測定・評価システムの開発

- ・感動の特質の解明
- ・コミュニケーションメカニズムの解明
- ・感動の数値化

感動共有技術開発による新たな“ものづくり”の提案

- ・五感情報の統合化技術
- ・感動共有技術開発
- ・エンハンスドヒューマンインターフェイスの提案

感動共有技術の応用と支援手法の開発

- ・感動創出システムの構築
- ・感動コンテンツの創出
- ・クリエイターの人材育成

研究キーワード

- ・感性評価
- ・ヒューマンインタフェース
- ・ヴァーチャルリアリティ
- ・コミュニケーションシステム
- ・コミュニケーションサイエンス
- ・コミュニケーションデザイン
- ・表情分析
- ・メディアコンテンツ
- ・エンタテインメント工学
- ・音楽音響学
- ・ビジュアルインフォメーションデザイン
- ・脳・生理機能測定